

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公表番号】特表 2006-519901 (P2006-519901A)

【公表日】平成 18 年 8 月 31 日 (2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報 2006-034

【出願番号】特願 2006-504557 (P2006-504557)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 69/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 51/04 (2006.01)**

**C 0 8 G 64/06 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 51/04

C 0 8 G 64/06

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 27 日 (2007.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

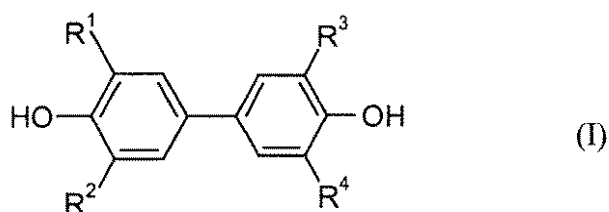
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビスフェノールモノマー類として、式 (I) :

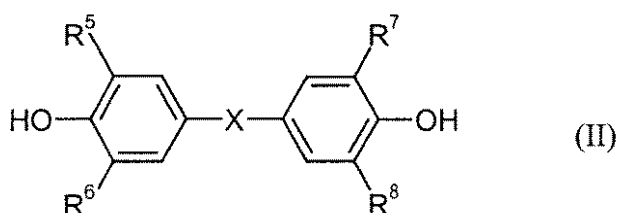
【化 1】



[ 式中、 $R^1 \sim R^4$  は互いに独立して水素、 $C_1 - C_4$  アルキル、フェニル、置換フェニルまたはハロゲン、好ましくは水素、 $C_1 - C_4$  アルキルまたはハロゲンおよび特に好ましくはすべて同一の基、特に水素または *t*-ブチルを示す。]

で表される化合物 0.1 モル% ~ 46 モル%、好ましくは 11 モル% ~ 34 モル% および特に 26 モル% ~ 34 モル% および式 (II) :

【化 2】



[ 式中、 $R^5 \sim R^8$  は互いに独立して水素、 $CH_3$ 、塩素または臭素を示し、および  $X$  は  $C_1 - C_5$  アルキレン、 $C_2 - C_5$  アルキリデン、 $C_5 - C_6$  シクロアルキレン、 $C_5 - C_{10}$  シクロアルキリデンを示す。]

で表される補足量、すなわち 99.9 モル% ~ 54 モル%、好ましくは 89 モル% ~ 66 モル% および特に 74 モル% ~ 66 モル% の化合物

から合成されるコポリカーボネート (A) 89 ~ 99 重量%、およびポリブチルアクリレートコアシェル変性剤、オレフィン変性剤、ポリ(スチレン - b - エチレン - コブチレン - b - スチレン) 変性剤、少なくとも 1 つのビニルモノマーグラフトポリマーを有するゴムグラフトポリマーまたはそれらの変性剤の 2 種以上の混合物からなる群から選択される変性剤 (B) 11 ~ 1 重量% を含有する組成物。

【請求項 2】

(A) が式 (I) のビスフェノールモノマー 34 ~ 26 モル% と補足量の式 (II) のビスフェノールモノマーから合成されることを特徴とする、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

(B) がメチルメタクリレートでグラフトされたブチルアクリレートゴムまたはメチルメタクリレートでグラフトされたシリコンブチルアクリレートコンポジットゴムであることを特徴とする、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

成形部品および押出品を製造するための、請求項 1 記載の組成物の使用。

【請求項 5】

請求項 1 記載の組成物から製造された成形部品および押出品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

したがって、本発明は ビスフェノールモノマーとして、式 (I) :

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

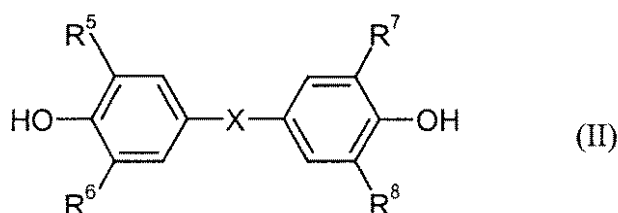
【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【化 2】



[ 式中、 $R^5 \sim R^8$  は互いに独立して水素、 $CH_3$ 、塩素または臭素を示し、および  $X$  は  $C_1 - C_5$  アルキレン、 $C_2 - C_5$  アルキリデン、 $C_5 - C_6$  シクロアルキレン、 $C_5 - C_{10}$  シクロアルキリデンを示す。]

で表される補足量、すなわち 99.9 モル% ~ 54 モル%、好ましくは 89 モル% ~ 66 モル% および特に 74 モル% ~ 66 モル% の化合物

から合成されるコポリカーボネート (A) 89 ~ 99 重量%、およびポリブチルアクリレートコアシェル変性剤、オレフィン変性剤、ポリ(スチレン - b - エチレン - コブチレ

ン - b - スチレン) 変性剤、少なくとも 1 つのビニルモノマーグラフトポリマーを有するゴムグラフトポリマーまたはそれらの変性剤の 2 種以上の混合物からなる群から選択される変性剤 (B) 11 ~ 1 重量% を含有する組成物に関する。コポリマー (A) とそれに対応する変性剤 (B) との好ましい混合物は、(A) 91 ~ 99 重量%、最も特に好ましくは (A) 93 ~ 99 重量% と 補足量の変性剤 (B) である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

最も特に好ましく、かつ本発明によって提供されたそれら自身は、コポリカーボネート (A) と変性剤 (B) との混合物であり、この場合コポリカーボネート (A) は式 (I) のビスフェノールモノマー 34 - 26 モル%、特に 33 - 27 モル%、より特に 32 - 28 モル%、最も特に 31 - 29 モル% およびその中でも最も特に 30 モル% (各場合式 (II) の 補足量のビスフェノールモノマー によって補完される) から合成される。